

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

豊浜中学校区 校番24 学校名 豊浜中学校

a 学校教育目標	<p>貴</p> <p>自ら考え主体的に学び表現する児童生徒の育成 ～郷土に誇りを持ち、理想の実現をめざす～</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p> <p>(ミッション)(学校の使命) へき地・小規模校として、地域・保護者からの期待に応えられる教育の実現</p> <p>(ビジョン)(将来の学校像) 「夢」があり、「感動」があり、「笑顔」であふれる学校 ①基礎・基本を徹底し「主体的な学び」を育てる学校 ②一人一人が大切にされ、「活躍」の場がある学校 ③家庭や地域と連携し、みんなが「誇れる」学校</p>
----------	---	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>【現状(○成果●課題◇強み)】 ○授業改善のポイント(考えさせるための発問、考えの再構成を意識した授業展開等)を全員が意識した授業改善や補充(豊浜タイム)、課題(発展的な内容を扱う週末課題)をやりきらせる指導を行い、全国学力・学習状況調査等では一定の成果を上げた。 ○キャリア教育に係る総合的な学習の時間の充実を図ったことで「将来の夢や希望をもっている」と答えた生徒の割合が向上した。また、「表現力」育成のための取組を全学年で実施した。 ●自分には、よいところがあると答えた生徒の割合が約63%である。(令和4年度は+3%) ●資料を読み取り、それらを活用して自分の考えをまとめ表現すること等に課題がある。(全国学力・学習状況調査) ◇少人数であるために、一人一人に丁寧な指導をしやすい。また、地域も協力的で地域の協力が得やすい。 【令和5年度の重点】 ①防災教育の深化(「自分の命は自分で守る」力の育成) ②授業改善の推進等(ア少人数の利点を生かした、すべての子どもが「分かる・できる」工夫の充実 イ共通の視点を定めての授業改善 ウ「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力の育成) ③個を大切にした指導の充実</p>
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	<p>貴</p> <p>「生きてはたらく知識・技能」「課題を解決し、発信する力」「主体的に学び、協働する力」</p>
-------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから) ①・②・③ 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	貴 「主体的・対話的に深く学び、思いを分かりやすく表現できる」児童生徒を育成する。	主体的に学び、協働して学びを深めることができる児童の育成	少人数の利点を生かし、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫や補充・課題をやりきらせる指導の充実	貴 家庭学習を(60+10×学年)分以上行うと答えた生徒の割合 (現状値68.6%)	70%	49%	70%	C			
			すべての教員が「共通」して取り組む授業の視点を明確化した授業改善の実施(『子どもの問い』を生かす、「聴く・関わる・振り返る」。「思考を促す発問」)	授業がわかると答えた生徒の割合 (現状値88.6%)	88%	79%	90%	B			
			ICT機器の効果的な活用(キュビナの活用含む)	「ICT(タブレット等を用いた学習は、学力の向上につながっているか」の問いに「よくあてはまる」と答えた生徒の割合 (現状値42.9%) 振興	+2P	20%	D				
			ICT機器の効果的な活用(キュビナの活用含む)	「ICT(タブレット等を用いた学習は、学力の向上につながっているか」の問いに「よくあてはまる」と答えた生徒の割合 (現状値42.9%) 振興	60%	49%	81%	B			
			総合的な学習の時間の取組の充実(「自己表現」「職場体験」等)	将来の夢や目標をもっている生徒の割合 (現状値85.7%) 振興	90%	82%	91%	B			
			「表現力」を育成する取組の充実(一分間スピーチ、文化祭での発表等)	授業では、自分の考えと理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるようにしている生徒の割合 (現状値88.6%)	88%	67%	76%	C			
			教員の見取り(1学期と2学期の達成率(2年))	85%	-	-	-				
**	貴 粘り強く挑戦し、夢や誇りをもち、郷土を愛する心を育てる。	人間性の基盤としての自己肯定感を高める。	小中合同行事による学年交流や生徒会、学級活動等、生徒個々の活躍の場を意図的に設定し、学校生活の中で達成感を味わわせる。	自分にはよいところがあると答えた生徒の割合 (現状値62.9%) 振興	65%	64%	98%	B			
				学校生活の中で協働し、達成感を感じる生徒の割合 (現状値82.9%)	85%	91%	107%	A			
			基本的な生活習慣の定着と自分の命は自分で守ろうとする生徒を育成	起床・就寝時間の基準を決めて実施できた生徒の割合 (現状値77.1%)	80%	64%	80%	B			
				災害時に非難する場所や避難の仕方について理解している生徒の割合 (現状値85.7%) 振興	85%	85%	100%	A			
	心身ともにたくましい生徒の育成	新体力テストの弱点の補強を授業や部活動等で意図的に実施する。	体力テストの「柔軟性」が伸びた生徒の割合(1,2学期比較)	50%	-	-	-				
*	貴 信頼される学校	関係機関連携の充実	豊浜学寮、特別支援学校との連携を充実させる。	豊浜学寮月1回以上の連携、特別支援学校とは年1回以上の連携を行う。	100%	100%	100%	A			
		児童と向き合う時間の確保	校務支援システムを活用する等ICTを効果的に使うことで、業務の効率化を図る。	生徒と向き合う時間が確保できた教職員の割合 (現状値100%)	100%	91%	91%	B			

【k:評価】
A:100%(目標達成) B:80%(ほぼ達成)<100
C:60%(もう少し)<80 D:(できていない)<60